

## 青少年施設等の指定管理者指定について

- 1 青少年施設等の名称及び指定候補者の名称、指定期間（各施設の概要は別紙）
  - (1) 横浜市青少年交流センター・横浜市青少年育成センター（2年間）※非公募  
指定候補者：財団法人横浜市青少年育成協会（平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）  
※本施設は、24 年度末までに今後の方向性を整理するため、指定期間 2 年間で非公募とした。
  - (2) 横浜市野島青少年研修センター（5年間）  
指定候補者：財団法人横浜市青少年育成協会（平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
  - (3) 横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター・横浜市くろがね青少年野外活動センター・  
横浜市こども自然公園青少年野外活動センター（5年間）  
指定候補者：財団法人横浜市体育協会（平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
  - (4) 横浜こども科学館（5年間）  
指定候補者：SFG・NTTファシリティーズ共同事業体  
（平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
- 2 非公募施設に関する指定候補者選定・評価方法、選定の経過
  - (1) 応募資格確認  
要項上の応募資格等の確認
  - (2) 選定方法  
書類審査、財務状況診断、プレゼンテーション等
  - (3) 評価方法  
団体の状況、基本方針、事業計画、管理運営等の評価基準により総合評価を行った。  
（各委員配点 105 点 委員 4 人の合計点を評価点とした。）
  - (4) 選定の経過  
ア 第 1 回選定委員会（22 年 6 月 11 日） 委員長選出、提出書類等決定  
イ 第 2 回選定委員会（22 年 8 月 30 日） 審査・評価
- 3 公募施設に関する指定候補者選定・評価方法、選定の経過
  - (1) 応募資格確認  
要項上の応募資格、説明会参加等の確認
  - (2) 選定方法  
第 1 次審査：書類審査、財務状況診断等  
第 2 次審査：プレゼンテーション
  - (3) 評価方法  
基本方針、事業計画、管理運営等の評価基準により総合評価を行った。  
（各委員配点 105 点 委員全員の平均点をもって評価点とした。）
  - (4) 選定の経過  
ア 第 1 回選定委員会（22 年 5 月 11 日）  
委員長選出、スケジュール、提出書類等決定  
イ 公募書類配布、現地見学会・公募説明会、質問受付、応募書類提出（22 年 5 月～7 月）  
ウ 第 2 回選定委員会（22 年 8 月 16 日） 第 1 次審査  
エ 第 3 回選定委員会（22 年 9 月 14 日） 第 2 次審査  
オ 第 4 回選定委員会（22 年 10 月 22 日）  
野島青少年研修センターにおいて、選定期間中、浴場にレジオネラ属菌が検出されていたことが第 2 次審査後に判明し、再審査の必要性を確認するため開催。（再審査不要の結論）

#### 4 選定委員会委員

##### (1) 非公募施設

委員長	内海 宏	特定非営利活動法人アクションポート横浜	理事
委員	相馬 直子	横浜国立大学大学院国際社会科学研究所	准教授
	為崎 緑	社団法人神奈川県経営診断協会	理事
	辻 悠一	慶應義塾大学学生	

##### (2) 公募施設

委員長	犬塚 文雄	横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター	教授
委員	石井 一也	横浜市青少年指導員連絡協議会	会長
	上坂 渉	社団法人神奈川県経営診断協会	副理事長
	栗原 秀泰	横浜市PTA連絡協議会	役員
	小松 督	関東学院大学工学部	教授

#### 5 指定候補者に関する評価・意見、選定結果

##### (1) 横浜市青少年交流センター・横浜市青少年育成センター ※非公募施設

2年間の事業の実施方法、施設の管理・運営等について審査した結果、青少年の状況を把握した今後の指導・育成の考え方、提案内容の堅実性・安定性などを評価した。

指定候補者	点数
(財)横浜市青少年育成協会	311 /420

##### (2) 横浜市野島青少年研修センター

実績に基づく安定した運営と、子ども・青少年の「育ちの場」の提供、人材養成、地域活動支援などの基本方針や、近隣の団体・大学など専門機関との連携、若者自立支援への取り組み等が評価された。浴場におけるレジオネラ属菌の検出については、業務マニュアルの見直しや、設備の改修を行うなど、再発防止に向けた対策を講じていることから、再審査不要とした。

指定候補者	点数	次点候補者	点数	第3順位候補者	点数
(財)横浜市青少年育成協会	87.0 /105	住友不動産建物サービス(株)	84.8 /105	(株)日本水泳振興会	74.2 /105

##### (3) 横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター・横浜市くろがね青少年野外活動センター・横浜市こども自然公園青少年野外活動センター

長年の事業実績に基づく安定した運営や、自然体験プログラムの充実など、ノウハウを活かした収支計画・事業計画は優れた内容となっており、全ての市民に使いやすくするユニバーサルデザインの原則や、安全管理、サービス向上策も評価した。

指定候補者	点数	次点候補者	点数
(財)横浜市体育協会	90.6 /105	住友不動産建物サービス・インテリアスケープ共同事業体	77.4 /105

##### (4) 横浜こども科学館

複数館の共同制作による低経費・高品質なプラネタリウム番組の開発、計画的な事業展開、企業CSR（社会的貢献）等による展示の活性化、ネットメディアを活用しリアルタイムに情報発信するなどの利用者サービス向上等を高く評価した。全体に、高水準の提案を低経費で実現する姿勢が高得点を得た。

指定候補者	点数	次点候補者	点数	第3順位候補者	点数
SFG・NTTファシリティーズ共同事業体	87.4 /105	(財)横浜市青少年育成協会	83.6 /105	横浜こども科学館活性化共同事業体	81.2 /105

## 青少年施設等の概要

## 1 青少年施設

設置目的：青少年の健全育成を図る。(①、②は日帰り施設、③は宿泊研修施設)

施設名称	施設概要	指定管理料 (21年度)千円	延利用者数 (21年度)人
①横浜市青少年交流センター	西区老松町25 3629.97 m <sup>2</sup> 平成14年設置(昭和45年竣工) 交流スペース、レクホール、会議室、和室、スタジオ等	69,696	170,085
②横浜市青少年育成センター	中区住吉町4-42-1 1307.47 m <sup>2</sup> 昭和61年設置(関内ホール地下) 研修室、ミーティングルーム、和室、スタジオ等	42,433	61,155
③横浜市野島青少年研修センター	金沢区野島24-2 3,967 m <sup>2</sup> 昭和53年設置(平成5年移転改築) 宿泊室(200人)、食堂、研修室、和室等	75,021	28,339

## 2 青少年野外活動センター

設置目的：青少年に自然環境における共同生活の場を提供することにより、その心身の健全な発達を図る。

施設名称	施設概要	指定管理料 (21年度)千円	延利用者数 (21年度)人
①横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター	神奈川区三ツ沢西町3-1 1,150 m <sup>2</sup> 昭和57年設置 宿泊室(150人)、プレホール、食堂、炊事場等	24,551	26,852
②横浜市くろがね青少年野外活動センター	青葉区鉄町1380 400 m <sup>2</sup> 昭和57年設置 宿泊室(50人)、食堂、炊事場、テント広場等	22,617	21,348
③横浜市こども自然公園青少年野外活動センター	旭区大池町65-1 1,489 m <sup>2</sup> 平成元年設置 宿泊室(150人)、食堂、炊事場、集会場等	27,504	30,809

## 3 横浜こども科学館

設置目的：科学に関する資料及び装置の展示等を行うことにより、青少年の科学に関する知識の啓発を図り、創造性豊かな青少年の育成に寄与する。

施設名称	施設概要	指定管理料 (21年度)千円	延利用者数 (21年度)人
横浜こども科学館	磯子区洋光台5-2-1 6486.26 m <sup>2</sup> 昭和59年設置 宇宙劇場、特別展示室、宇宙研究室等	227,166	264,826